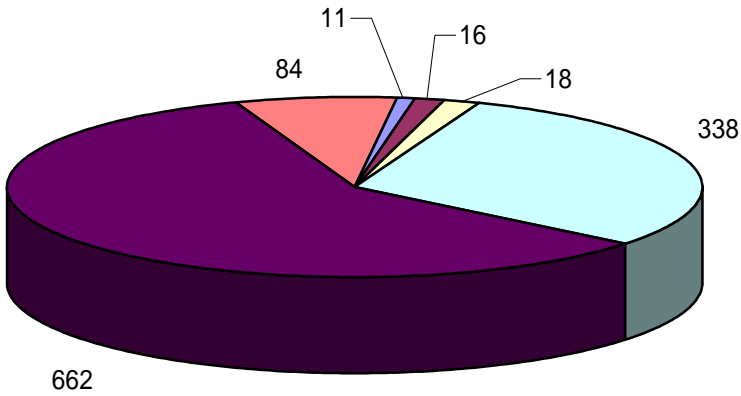
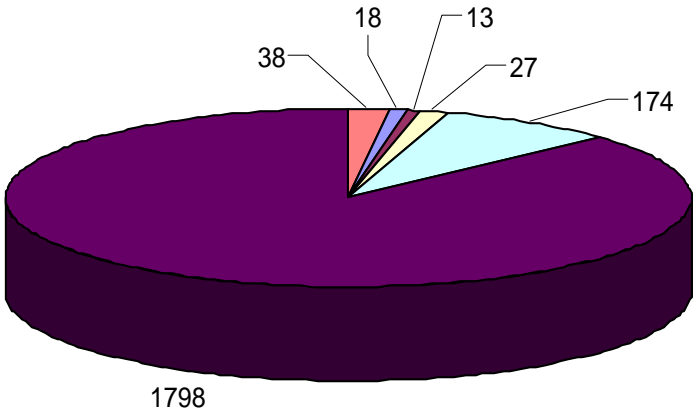


福島第一、第二原子力発電所における不適合管理状況について(7～10月)

原子力発電所では、設備の健全性を維持し、安全運転を継続するため、発電所設備の定期検査や運転中の巡視点検、定例試験、点検・修理等を行っております。その中で、不適合が発見された場合には、「不適合管理マニュアル」に基づき、必要な是正処置を講じることとしております。



- As区分 :法律、大臣通達、安全協定に基づく報告事象など
- A区分 :社外への大きな影響を与える事象など
- B区分 :官庁又は発電技検の立会検査に関わる不適合事象など
- C区分 :電力自主検査及び発電技検記録確認に関わる不適合事象など
- D区分 :あらかじめ、過去の不具合事象からグループ内の処理で問題なしと規定されている具体的な不適合事象など
- 対象外 :消耗品の交換等の事象

グレード別内訳（件数）

福島第一(2,068 件)

福島第二(1,129 件)

平成15年7月1日～10月31日間に不適合管理委員会で審議された「不適合」*は、福島第一が2,068件、福島第二が1,129件ありました。

* :「不適合」の定義（JEAG4101-2000より）
本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為（判断）とは異なる行為（判断）